

日増しに暖くなる時節となりました。日頃は、本校教育活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。後期に児童や保護者の皆様からいただきました「学校評価アンケート」について、前期と後期を比較・分析し、次年度の取組の充実に向けて、推進すべき点や改善点に付きまして考察いたしましたので、ご報告させていただきます。

学校教育目標 ～豊かな未来を切り拓き、夢に向かい、共に生きる子を育てる～
 めざす子どもの姿 ○元気にあいさつする子 ○人を大切にする子
 ○しっかり勉強する子 ○きまりを守る子

〈学校アンケート(保護者・児童アンケート・教職員自己評価)結果〉

	項目	児童		保護者		教職員	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	しっかりノートを書いている。	93.2	94.4	91.6	92.3	100	100
2	時間を意識して行動している。(ベル着)	90.2	87.0	—	—	95.5	100
3	道徳の時間にいろいろ考えることは楽しい。	82.3	83.0	—	—	95.5	100
4	「話し方名人」のうち、3つ以上できている。	78.0	78.2	—	—	95.5	81.8
5	「聞き方名人」のうち、3つ以上できている。	82.8	82.5	—	—	—	—
6	家庭学習(自主学習も)や宿題を進んでしている。	79.1	81.3	89.7	90.5	100	100
7	朝読書の10分間、毎日しっかり読書している。	81.5	82.0	71.7	46.4	90.0	100
8	忘れ物がないように学習の準備をしている。	85.7	87.5	86.5	88.0	—	—
9	相手に聞こえる声で挨拶をしている。	82.0	83.0	89.9	89.5	100	100
10	人に嫌なことを言ったり、したりしていない。	91.8	91.2	92.6	93.1	100	100
11	児童会や桃キッズの活動では、協力している。	93.4	93.6	83.3	84.9	—	—
12	係、当番や委員会活動を最後までしっかりしている。	96.3	95.4	74.9	55.7	100	100
13	学校のきまりや学校生活のルールを守っている。	92.6	95.5	84.7	87.0	100	100
14	分からないことや困ったことなど先生にそうだんしている。	78.6	76.6	62.8	66.9	95.5	90.9
15	分からないことや困ったことなど家の人にそうだんしている。	86.5	86.1	82.8	85.7	—	—
16	高学年は、他学年の見本になっている。	86.1	83.5	—	—	95.0	91.0
17	丁寧な言葉遣いをしている。	83.3	83.3	85.0	68.1	85.0	81.8
18	休み時間に外で遊んだり体を動かしたりしている。	84.1	83.8	76.6	73.8	90.0	72.8
19	好き嫌いなく、残さず給食を食べている。	89.1	88.9	81.1	80.1	95.0	100
20	交通ルールを守り、安全に気を付けて行動している。	94.5	95.9	85.3	87.0	100	100
21	早寝・早起き・歯磨きができている。	84.4	84.5	77.1	78.1	—	—

* 実現度は、「よくできている」「大体できている」を合わせた数値です。(%)

* 児童のアンケート項目に沿って、評価を載せています。

* 教職員評価については実現に向けて取り組んでいるかどうかについての数値を載せています。

1 楽しく分かる授業を目指して

学習に関する項目（①③④⑤）では、前期と同じような結果でした。「楽しい・わかった・できた」と実感できる授業内容を目指して授業の改善に努めてきた結果「ノート指導」については、取組の成果が見られました。しかし、「聞く」ことより「話す」ことの方が児童の実現度が低い結果であることから今後は、その要因を探り、見直し改善を行い一人一人の子どもに寄り添って学習を進めていきたいと思います。

「先生に相談する」の項目では、教職員の実現度が高い割に保護者・児童の実現度が低い結果です。子ども達が自分の思いや考えを言える時間や場所の確保を図り、気軽に話せる環境づくりなどの取組を進め、保護者の皆様と一緒に子ども達を育てていきたいと思います。

2 家庭学習の定着を目指して

「家庭学習（自主学習も）や宿題を進んでしている。」の項目では、前期と比較すると児童アンケートの結果が若干、上がっていました。さらなる向上を目指し、学校では、毎日の宿題チェックと宿題を忘れた場合、学校でその日のうちにやらせ切ることの徹底を図っていきます。ご家庭におかれましては、学習予定等で宿題をご確認いただき、子どもたちに励ましのお声かけ等の一言をお願いします。家庭学習の定着に向けてご家庭と学校が連携して取り組んでいきたいと考えます。ご家庭で学習時間を確保することは学力向上の重要なポイントになります。子ども達が集中して効率的に家庭学習（宿題）ができるよう、よろしくお願いします。

3 読書の習慣化を目指して

「本をよく読んでいる」では、子どもは82.0%がだいたいできているとの評価ですが、保護者は46.4%となっており、子どもの評価と大きく差がみられます。学校では、今後も図書館の利用推進や朝読書や読書ノートの活用・読み聞かせ等の充実などを行っていきます。ご家庭では、習い事等で読書の機会が少ないためか、保護者の皆様の評価が低くなっているようです。各ご家庭におかれましても読書の環境づくりなどご協力いただきますようお願いいたします。

学校運営協議会の理事様からご意見をいただきました。

読書について

- ・学校が行っている「朝の10分間読書」を続けなど、本に親しむ環境づくりが大切である。
- ・読書は、続けることに意味がある。
- ・家庭でも小さい頃から読み聞かせをして、本に興味を持たせるようにしている。
- ・読書活動が意味のある活動にするためには、どうすべきか考える必要がある。
- ・読書については、保護者も読書をしている姿を子どもに見せることも大切である。

挨拶について

- ・約8割の子どもたちは、挨拶ができている。しかし、こちらが挨拶をしても挨拶をしない子どももいる。
- ・家庭の中で挨拶を行うことが大切である。
- ・保護者が挨拶の大切さを理解しているのか疑問に思う。
- ・人間関係を結ぶ一歩が、挨拶である。
- ・高学年になると挨拶をしない子どもが増える傾向にある。
- ・大人が挨拶をしている姿を見せることを大事である。

その他

- ・掃除道具など普段使っている道具が雑に扱われていると心の乱れのサインである。
- ・日記をつけることは、1日の振り返りにもなることと表現力が養われる。
- ・大人が、子どもたちの見本となる行動が大事である。

今年度は、児童・保護者・教職員ともにそれぞれの立場を振り返る自己評価的な問いかけ方に変更しました。学校では、学校教育目標の実現に向けて、家庭では働きかけを振り返る機会としていただくことで、学校と家庭が結果と共有し、改善に向けて連携・協力していきたくと考えています。お忙しい中、アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。来年度に向けて、検討・見直しを進めていきます。今後とも、ご支援ご協力をどうぞよろしくお願いします。